学校番号	３０２０B

平成 31 年度　　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	2	年次	2 年次（後期）
使用教科書	社会福祉基礎（実務出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これから地域社会で生活されている人々の「ふだんのくらしのしあわせ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事、テレビニュース、Web 等から興味や関心の幅を広げましょう。手話や要約筆記の実習、地域の福祉施設でのボランティアや介護実習に意欲的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に関心を持ち、福祉社会に向けた課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身に付けている。	日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	社会福祉に関する基礎的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動に対応することをめざしてその技術を適切に活用している。	現代社会のおける社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している。
評価方法	出欠 実習 レポート 取り組み態度	実習 レポート 取り組み態度 定期考査	実習 レポート 取り組み態度 定期考査	実習 レポート 取り組み態度 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	生活と福祉	・少子高齢化と人口減少社会の到来 ・地域社会の変化 ・生活の変化 ・疾病構造の変化と国民の健康づくり ・人の一生と社会福祉	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	a：家族や地域の機能と役割の変化、ライフスタイルの変化や健康に関する考え方について関心をもち、生活と福祉について探求しようとしている。 b：家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について思考を深め、適切な知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d：家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について理解し、社会全体で介護を支える介護の社会化の意義についても理解している。	出欠 レポート 取り組み態度 定期考査
	要約筆記	・要約筆記とは ・聴覚障害の基礎知識 ・要約筆記のいろんな方法 ・パソコンを用いた要約筆記	○ ○ ○ ○		 ○ ○	○ ○ 	a：聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、実習にも意欲的に参加している。 b：聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、要約筆記の知識や様々な方法を生かす工夫をしている。 c：聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、パソコンを用いた要約筆記の必要性についても認識している。 d：聴覚障がいや要約筆記に関心をもち、社会福祉を実践する中での重要性を理解している。	出欠 実習 レポート 取り組み態度 定期考査

	社会福祉と理念	・日本国憲法と社会福祉 ・現代の福祉理念 ・社会福祉を支える諸原理	 ○ ○	 ○	○	○ ○	a：日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について関心をもち、諸課題について探求しようとしている。 b：日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について思考を深め、自立生活支援へ変化してきた過程や結果を適切に表現している。 c：日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連についての様々な情報を収集し、適切に活用している。 d：日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について理解している。	出欠 レポート 取り組み態度 定期考査
	人間の尊厳と社会福祉の創造	・人間としての尊厳 ・自立生活支援 ・福祉社会の創造	○	○ ○ ○	 ○	 ○	a：人間の尊厳と自立について関心をもち、日本国憲法などを通して権利擁護の重要性及び利用者自身の意思決定を尊重した自立支援の向上について探求しようとしている。 b：人間の尊厳と自立について思考を深め、社会福祉と自立生活支援との関わりや利用者の意志決定の尊重について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：人間の尊厳と自立について関心をもち、日本国憲法などに関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d：人間の尊厳と自立について日本国憲法などを通して理解し、利用者自身の意志決定を尊重した自立支援について理解している。	出欠 レポート 取り組み態度 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。